

肺がん検診を

これから受ける方・受けた方へ

肺がん(気管支等を含む)は、がんによる死亡原因の1位となっています。
40歳以上の方は、毎年定期的に検診を受けることで、がんによる死亡リスクが減少します。
なお、65歳以上の方は肺がん検診に結核検診を含んでいます。

肺がん検診の流れ

胸部エックス線検査…40歳以上の方が対象です。

喀痰検査(対象者のみ)…喀痰検査の対象(右参照)であれば、
希望により受診することができます。

異常なし

異常あり

精密検査

肺CTまたは気管支鏡検査などを行
い、より詳しく調べます。

異常なし

が ん

年に1回定期検診

治 療

胸部エックス線検査

胸のレントゲン撮影
を行う検査



喀痰検査

【対象者】

50歳以上かつ、
1日の喫煙本数×喫煙年数が600以上の人

【方法】

3日間起床時に痰を採取し、検診機関へ提出する

たばこと肺がんの関係

吸わない人に比べ、たばこを吸う人は
男性で約5倍、女性では約4倍、肺がん
で亡くなるリスクが高まります。

また、たばこは喫煙者本人のみならず周
囲の人の肺がんリスクを高めます。

長引く咳、声のかれ、息切れ、血痰
等の自覚症状があれば、検診を待た
ずに、医療機関を受診しましょう。

※国立がん研究センターがん対策情報センター作成フローを松江市で編集

《ご確認ください》

- ☐ 低い確率ではありますが、検診にもデメリットがあります。
 - ・がんではないのに「要精密検査」と判定される場合(偽陽性)や、がんがあるのに
見つけることができない場合(偽陰性)があります。
 - ・また、検査ではみつけにくいがんもあります。
- ☐ 検診は松江市と各医療機関が連携して行い、精密検査結果は関係機関で共有されます。

